



2011年(平成23年)

7月 5日

&lt;発行所&gt;

日本歯科新聞社

〒101-0061  
東京都千代田区三崎町2-20-4  
電話03(3234)2475  
FAX03(3234)2477  
<http://www.dentalnews.co.jp/>  
jdn@dentalnews.co.jp  
年間購読料18,900円(税・送料込)  
郵便口座番号00120-5-130369  
厚生労働省記者クラブ加盟社

九州のI歯科医院の院長が先日、がっかりした表情で「主任の歯科衛生士が、近隣のリハビリテーションの病院に雇用された」と話しました。

彼女は20年近く前、九州から名古屋の私の医院に往診研修見学のため、数日間、歯科医師とともに来の方でした。その後、ケアマネを取得したとは聞いていましたが、「彼女がまさか」と強く驚きました。

数人がケアマネ、今年は1人また、近畿地方のある歯科衛生士はヘルパーの費用とそれともない歯科医院を退職

が言語聴覚士になりました。今の歯科衛生士法では、やで、医師から口腔の衛生管理の知識を深め、どんどんステ

の条件で、今秋、オープンするデイケアに勤務することになりました。そして当院に勤務していた施設を有する病院等の医師、歯科衛生士も数人が看護師、看護師が口腔ケアに必死に取り組んでいます。

問題が提起され、大会長を務めた東大医学部教授も、同看護部長も「口腔ケアに重点を置いている」と話しました。しかし、医科における歯科医師、歯科衛生士の評価は芳しくなく、何人かの医学部教授は「今までお手伝いさ

いのは歯科界だけではないで

しょうか。英國の推理作家、ア

ガサ・クリスティーの小説の

タイトル「そして誰もいなく

なった」ではないのですが、歯

科衛生士が歯科界からいなくなつてから気付き、後の祭りにならないことを祈ります。

## 投 稿

### 歯科衛生士のヘッドハンティング

鈴木俊夫（名古屋市開業歯科医）